

2023年1月10日

日本水泳連盟関係者 各位

「LGBTQ+とスポーツ」勉強会のご案内

アスリート委員会

「国民皆泳」を目指す日本水泳連盟にとって、あらゆるマイノリティに対する配慮は不可欠です。日本の民間団体による調査では、性的マイノリティ（LGBTQ+）の人口は「8～10%前後」、つまり「10～13人に1人」が通説となっていますが、私たちの周りを見渡すと、LGBTQ+を名乗る人はほとんどいません。当事者の人々が心理的安全性を確保し、誰もが楽しめる水泳界であるために、まずはLGBTQ+の人々に対して正しい知識を得ること、そして私たち一人一人に何ができるのかをともに考える機会が必要であると考えます。

昨年、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）は、LGBTQ+の権利と啓発を行うプライドハウス東京と包括連携協定を締結し、スポーツ界でLGBTQ+に関する啓発活動を強化しています。昨年プライドハウス東京が実施した「アライアスリート研修」には、当アスリート委員会メンバーや水泳オリンピックが参加し、水泳界で理解を広げるためのベース作りに励んでいます。

水泳を誰もが楽しめるスポーツにするべく、多くの水泳関係者とともにもその理解を進めることを目的として今回の勉強会を企画いたしました。ご多忙の中恐縮ですが、多くの水泳関係者の皆さまにぜひご参加頂きたく、下記の通りご案内申し上げます。

記

日時 2023年1月27日（金）20時～21時半  
主催 公益財団法人日本水泳連盟アスリート委員会  
協力 プライドハウス東京  
研修内容 「LGBTQ+とスポーツ –スポーツ界のダイバーシティを考える」  
講師 杉山文野 氏（日本フェンシング協会理事・日本オリンピック委員会理事・プライドハウス東京理事）

<プロフィール>

1981年生まれ。フェンシング元女子日本代表のトランスジェンダー男性。早稲田大学大学院にてジェンダー・セクシュアリティを研究。NPO法人東京レインボープライド共同代表理事。「違いを知り、違いを楽しむ場をつくる」をテーマに、LGBTQの啓発を中心とした飲食店の経営やイベントの運営、全国各地で年間100本を超える講演会やメディア出演など活動は多義にわたる。私生活ではパートナーとの間に二児をもうけ、精子提供者である友人と共に3人親として子育てを行う。

対象 日本水泳連盟および加盟団体役員、評議員、各委員会委員、国際大会代表経験者の皆さま（現役・引退問わず）

研修方法 オンライン（Zoom）事前登録リンク（登録後、リンクが送られます）  
[https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0oc-uvqzkhNwO\\_8Z93R7mDBcZrfqBLhq8](https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0oc-uvqzkhNwO_8Z93R7mDBcZrfqBLhq8)

担当 アスリート委員・井本 [naoko.imoto@sports-sdgs.org](mailto:naoko.imoto@sports-sdgs.org)

以上